

岡山県では、県民一人ひとりが最期まで自分らしく、生き生きと暮らせる「幸福な長寿社会」の実現に取り組んでいます。

岡山県が目指していること

人生の最終段階まで
どう過ごしたいのか
本人と思いを共有する



最期まで自分らしく!

最期まで生き生きと!

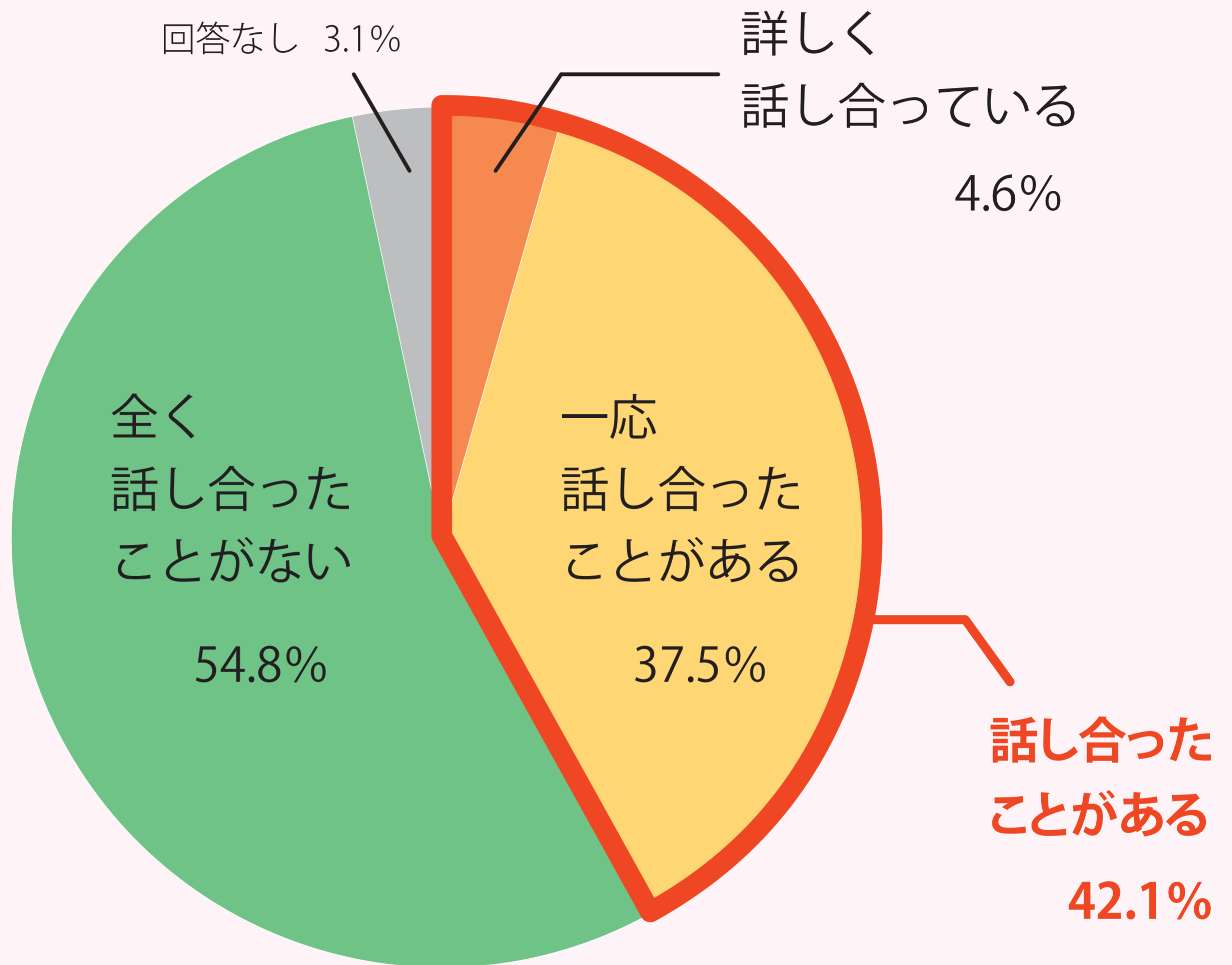


本人の思いが叶うよう
**医療・介護の面から
生活を支える**

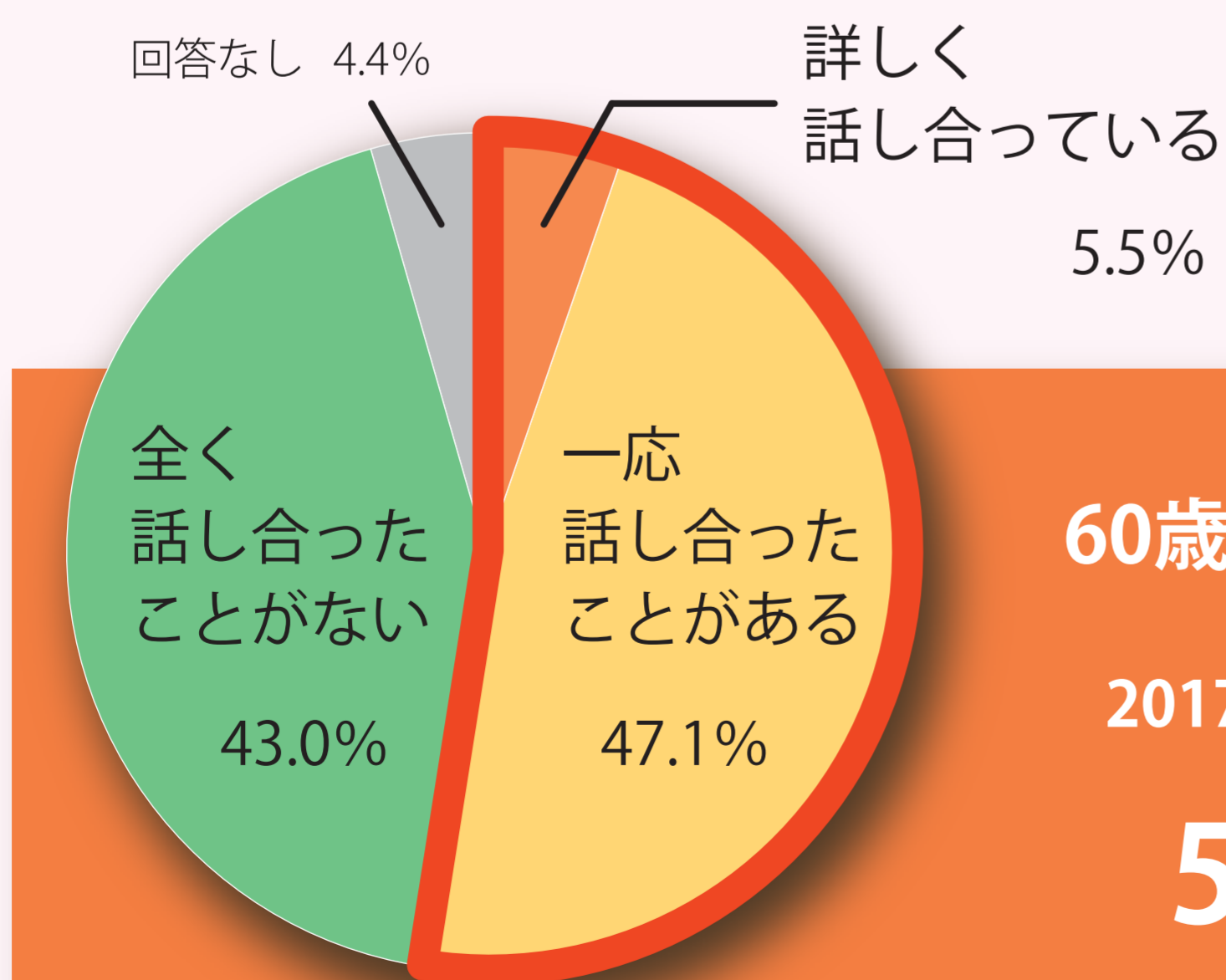
岡山県の取り組み

岡山県民1,344人に聞きました。

「あなたは、自分の死が近い場合に受けたい医療や受けたくない医療について、
家族と話し合ったことがありますか？」 (平成29年6月「県民満足度調査」)



うち60歳以上(675人)での割合



60歳以上で、話し合ったことがある人の割合

2017年(平成29年)

52.6%

目標

2020年

70.0%

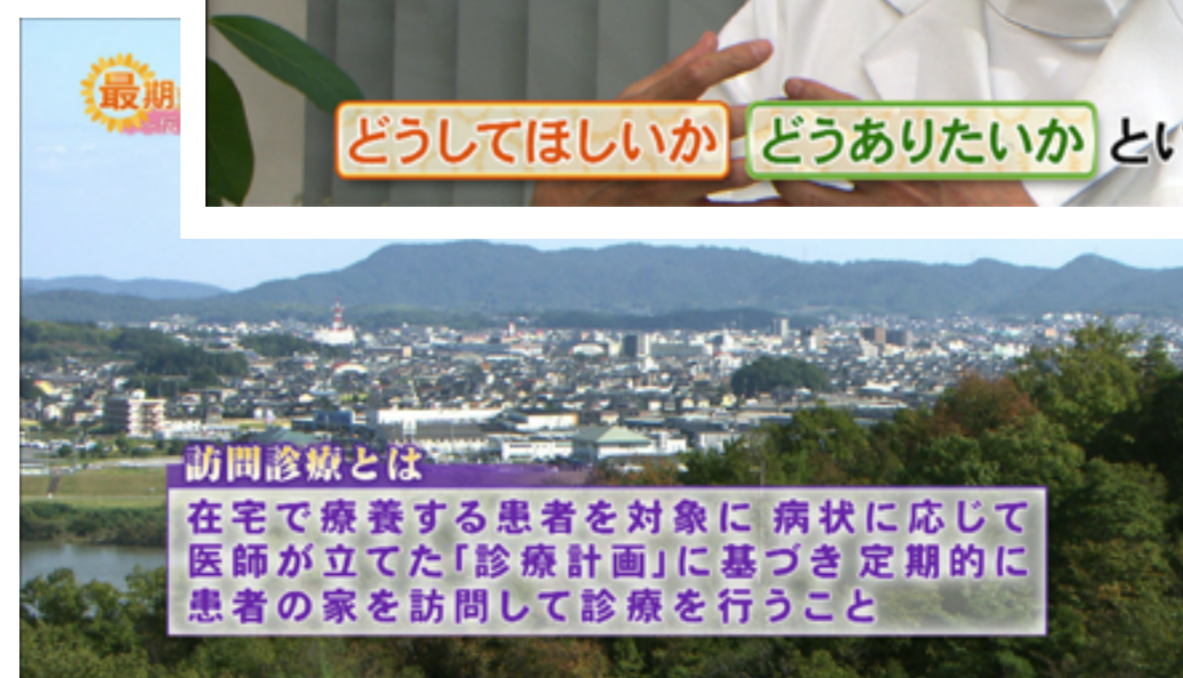
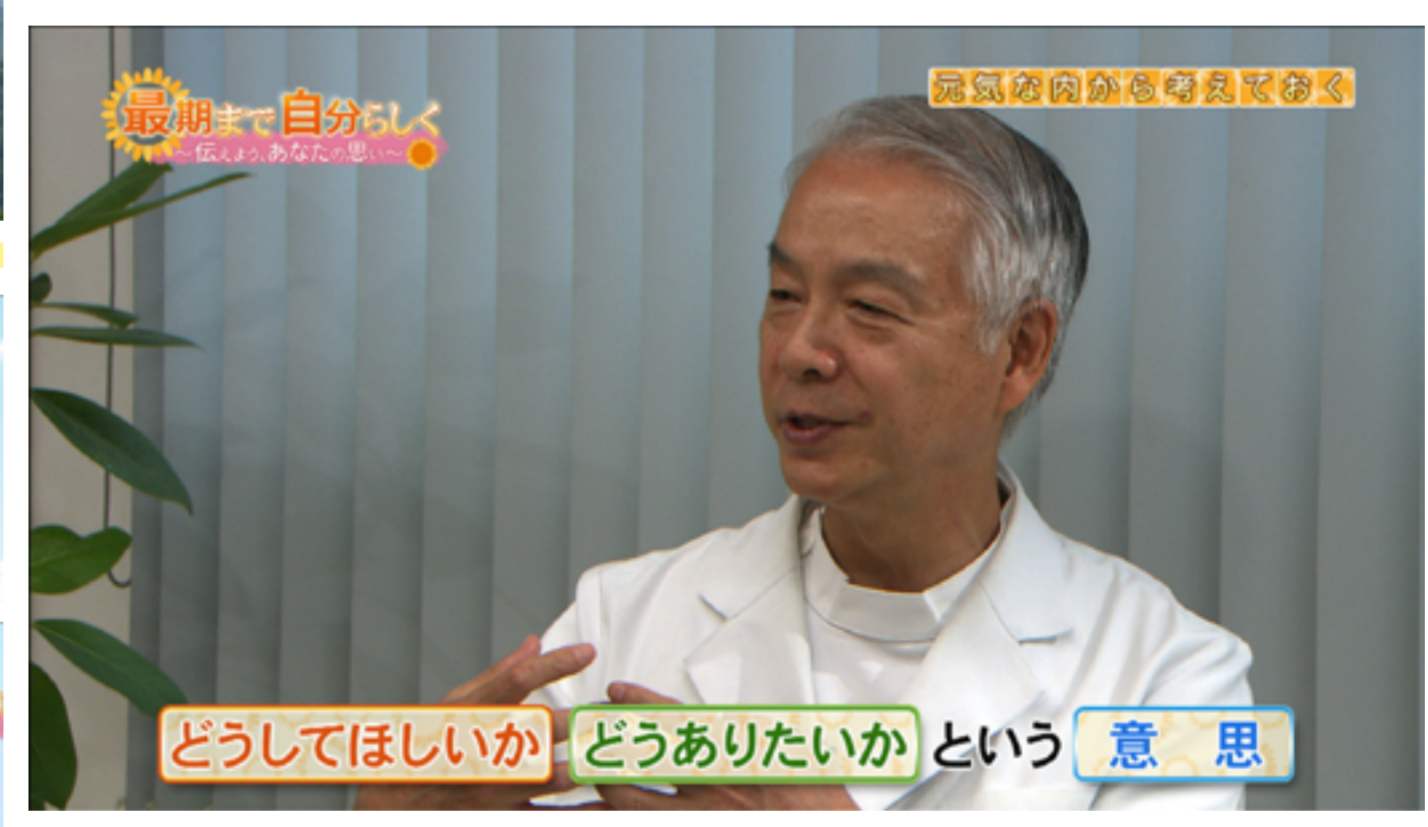
岡山県では、県民に、家族や身近な人と「人生の最終段階の過ごし方」について話し合い、思いを共有することの大切さを知っていただくための啓発活動に取り組んでいます。



取組事例

広報番組「最期まで自分らしく」の制作

県内の医療関係者や有識者、患者さんにご協力いただき広報テレビ番組を企画・放送しました。(RSK山陽放送、平成29年12月2日放送)



訪問診療とは
在宅で療養する患者を対象に病状に応じて医師が立てた「診療計画」に基づき定期的に患者の家を訪問して診療を行うこと

この番組を収録したDVD「最期まで自分らしく」を、無料で貸出しています。また、番組の一部は岡山県ホームページで視聴できます。

岡山県の取り組み

岡山県では、医師会、看護協会などさまざまな関係機関と連携して、「患者本人の意思を尊重した医療」を実践する人材の育成に取り組んでいます。



取組事例

専門職向け研修会の開催

医師、看護師などを対象に、ACP(※)の基礎や、患者支援の事例を学ぶ研修会を開催しています。



▲ 岡山県医師会の研修会



▲ 岡山県看護協会の研修会

ACP とは？

アドバンス・ケア・プランニング (Advance Care Planning、略してACP)とは、「**今後の治療・療養について、患者・家族と医療従事者があらかじめ話し合い、共有し合うプロセス**」のことです。将来、患者自身が意思決定ができなくなったとき、患者の意思を尊重した医療を行うために役立つものとして近年、医療従事者への普及が進められています。

DVD「最期まで自分らしく」 貸出のご案内

最期まで自分らしく、悔いのない人生を送るためには、人生の最終段階の過ごし方について元気なうちからしっかり考え、自分の“思い”を家族や周囲の人に伝えておくことが大切です。そこで、岡山県では、考え・伝えるためのきっかけづくりに役立つDVDを制作しました。岡山県内にお住まいの皆さんに、無償で貸出を行っていますので、ぜひご活用ください！

DVDの概要

「最期まで自分らしく～伝えよう、あなたの思い～」
(約45分)

<主な内容>

- ・患者を幸せにする医療とは～医療関係者へのインタビュー
- ・こんなときどうする？～人生の最終段階で起こりうる問題
- ・最期まで住み慣れた場所で～ご本人・ご家族への取材から
- ・地域での新しい取り組みの紹介

案内役：RSKアナウンサー
石田好伸さん、奥富亮子さん



お知らせ

希望者には、DVDと併せて活用できる「振り返り用リーフレット」を差し上げます。



申込み方法

- ① 所定の「貸出申込書」に必要事項を記入し、郵送又はFAXで岡山県庁へ提出。
▼
- ② 申込み内容に問題がなければ、DVD、返却用封筒、リーフレット(希望者のみ)の3点を郵便でお送りします。(県庁へ直接受け取りにくることもできます。)
▼
- ③ 貸出期間が終了したら、DVDを返却用封筒に入れて返却してください。
なお、リーフレットは差し上げますので、返却不要です。

DVDの内容について、県ホームページで詳しくご紹介しています。

<http://www.pref.okayama.jp/hoken/saigomade/>

<お問い合わせ先> 岡山県庁 保健福祉部医療推進課 (疾病対策推進班)

〒700-8570 岡山市北区内山下2-4-6 電話 086-226-7321 / FAX 086-224-2313